

令和7年度 ジェンダー平等推進啓発ポスターコンクール 入賞作品

優秀賞 8点

小学生低学年の部



和歌山大学教育学部附属小学校
3年生 赤坂 凧彩

男の子でも女の子でも、だれでも着たいふくをきるのが、もっとあたり前になってゆくといいなと思います。くふうしたところは、「なにいろ」の文字をふくの色といっしょにしたところです。



和歌山市立藤戸台小学校
3年生 小野 莉歩

みんな、それぞれ、好きなものやすきなことに自分の気持ちを大事にして、かがやいてほしいです。

小学生高学年の部



和歌山市立松江小学校
6年生 杖村 優妃

最初は、背景をピンクと水色にしようと思ったのですが、それだと差別感が出てしまって、あまりなっとくいかなかったので、個性のあふれる虹色にしました。

中学生の部



田辺市立高雄中学校
1年生 苔原 由依

青と赤をなじませて、仲良しということを表現し、背景の黄色は、ウキウキしていて、心から輝いているということを表現しています。普通を気にせず、自分の思うように生きてほしいということを伝えています。



田辺市立高雄中学校
1年生 平田 愛葉

将来、何の職業になってもいいという事をイメージしました。

高校生の部



和歌山県立有田中央高等学校
3年生 浦野 紗永花

男性でも、女性でも好きな恰好をして、好きに生きるのは自由だということを伝えたかった。



海南市立下津第一中学校
1年生 吉田 沙奈

性別によって、職業を自由に選べない社会はおかしいとおもう。みんなが、好きな仕事につけるように願ってこのポスターを書きました。



和歌山県立桐蔭高等学校
1年生 坂本 瑞姫

男のだから、女の子だからとか関係なく、何の遊びをしてもよいし、何役でもよいし、何になっても良い。みんなが、HAPPYだったら、良いなあという思いを込めて描きました。